

みんなで作る博物館 1

～三重の魅力再発見～



平成 27 年度『環境学習みえ』では、『みんなで作る博物館』をシリーズで特集します。三重の多様で豊かな自然と歴史・文化について、総合力を発揮して探究し、保全・継承する MieMu(みえむ): 三重県総合博物館。学びと交流を通じての人づくりや、愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献するMieMuのさまざまな活動を取り上げます。また学芸員のお話などをご紹介します。予定は未定です。



【お話を伺った人】



MieMu | みえむ | 三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

ぬのたに とも お
館長 布谷 知夫さん

開館1周年を迎えるにあたって

平成26年4月19日にオープンし、11月時点で入館者数30万人を突破したMieMu(みえむ)：三重県総合博物館。子どもから大人まで多くの人たちに利用される活気ある博物館です。これまでMieMuが掲げる活動理念『ともに考え、活動し、成長する博物館』に基づいて、参加型の博物館として運営されてきました。今年4月に開館1周年を迎えるにあたって、新たな企画も始まります。

平成27年度春号では『みんなで作る博物館』シリーズの第二弾として、三重県総合博物館館長の布谷さんに展示の見どころを含めたMieMuの楽しみ方や博物館活動についてお話を伺いました。既にMieMuへ行ったことのある人も、博物館の上手な利用の仕方を知って、もっと楽しみましょう。

みんなで作る博物館

『みんなで作る博物館』として開館前には『MM(みえマイミュージアム)プロジェクト』が実施されました。みなさんに新しい博物館の活動や運営に参加してもらおうという企画です。

その取組みのひとつは、基本展示室の中で見ることができません。熊野灘・東紀州「コーナーの天井に吊り下げられた迫力ある約3千五百匹のマイワシの大群。この一匹一匹が参加者の手作りなのです。布谷館長「参加したことが形に残ることでわたしの博物館」として親しみを持ってもらおうと考えました。」

そのほかにも『お雑煮プロジェクト』や『三重のくらしの写真収集プロジェクト』などが催され、多くの人々が博物館づくりに携わってきました。



いわしプロジェクト